

JICA 教師研修 学習指導案・授業実践報告書

【実践者】

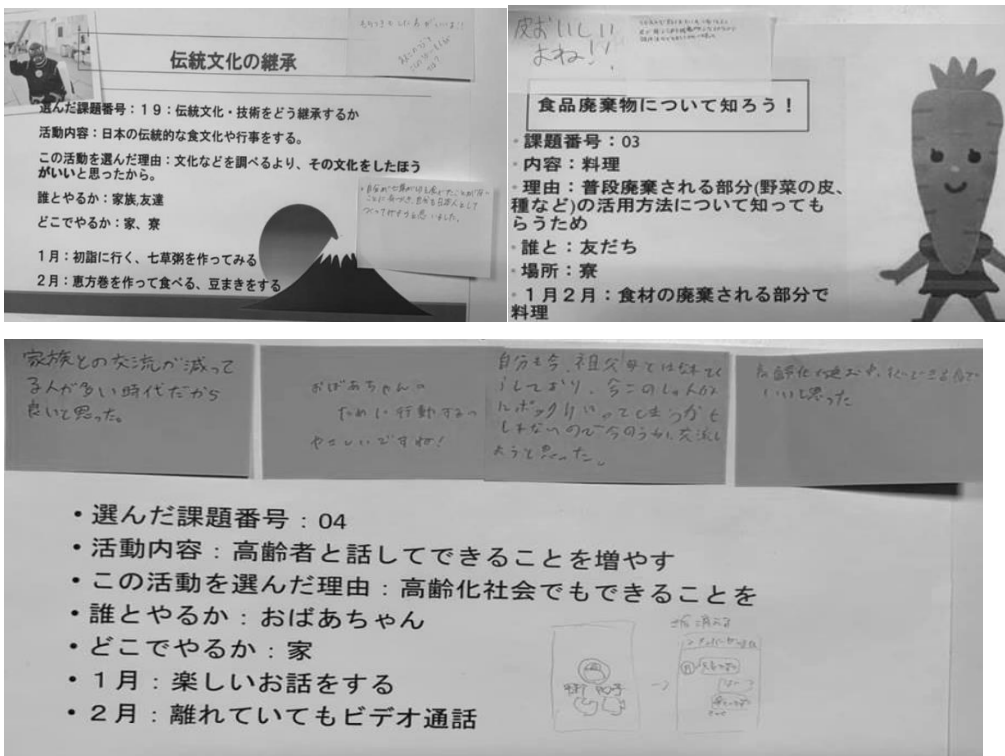
氏名	兵藤 桃香	学校名	独立行政法人国立高等専門学校機構 長岡工業高等専門学校
担当教科等	日本語（留学生）	対象学年（人数）	1年 2・4組（80名程度）
実践年月日もしくは期間（時数）	2021年12月（2時間）		

【実践概要】

1. 実践する教科・領域：特別活動		
2. 単元(活動)名：特別活動		
3. 授業テーマ（タイトル）と単元目標 授業テーマ： 「一人の行動が世界を変える！？自分にできる取り組みを提案してやってみよう！」 単元目標： ・自分の幸せ時間・みんなの幸せ時間を知る ・日本社会が抱える課題について知る ・新潟や長岡など県内での地域活性化のための取り組みを知り、自分にできることを考え発表し、学期末までに1回はやってみる 関連する学習指導要領上の目標： 学習指導要領なし（高等教育機関のため）		
4. 単元の評価 規準	①知識及び技能	・自己や周りの幸せについて考える ・日本社会が抱える31の課題を知る ・自分の考えをパワーポイントにまとめることができる
	②思考力、判断力、表現力等	・自分の考えを他の人に伝えることができる ・人の話を聞き、それを自分の地域の課題に置き換え、何ができるか考え提案することができる
	③学びに向かう力、人間性等	・相手の考えや発表を聞き、意見交換ができる ・一過性ではなく、継続して行うことができるテーマを設定し、実際に活動を行うことができる ・この学びをきっかけとして、課題を自ら調べることができる
5. 単元設定の理由・単元の意義 （児童／生徒観、教材観、指導観）	【単元設定の理由】 本校では、日頃から地域や企業と繋がり、課題抽出や解決力を育むより実践的な授業にも注力している。そのため、「より人々が暮らしやすくなる」ために、課題を発見し、それを解決するために自分にできることを考え実践するきっかけとしてほしい、と思い本単元を設定した。 【単元の意義】 様々な背景を持った人達と共に暮らすこと自体が多文化共生であり、「より人々が暮らしやすくなる」ために、課題を発見し、自分にできることを考え、行動を起こしていく過程での気づきは、今後社会に出た後も必要となる。この活動を通して、学生達は課題発見力や実行力を育むことが期待できる。	

	【児童／生徒観】 高専は寮もある為、新潟県内、県外から学生が集まってくることもあり、地元にもバラつきがあり、今回参加の学生の出身地は6割以上が長岡市外の学生であった。そのような中、今回授業を行う1年2組は留学生も在籍しており、「国際化推進モデル学級」としているため、比較的海外や交流に興味のある学生が在籍している印象である。また、1年4組に関しては、担任の先生がこの授業に興味を持ってくださり、9日のみ任意での参加となった。 【指導観】 グループワークでみんなの意見を聞く時間と一人でじっくり考える時間を持たせることで、自分の考えと他者の考えの違いをバランスよく感じてもらえるような工夫をする。			
6. 単元計画（全 2 時間）				
	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など
1 本時	地方創生 多文化共生 社会	自分や周りの幸せ時間を知る 地域活性化に向けた県内の取り組みを知る	●自分の幸せ時間を考える・周りの人の幸せ時間を知る ●日本が抱える 31 の課題を知る ●新潟で活動している人の話を聞いて自分にできることを考えてみる	パワーポイント ワークシート
2		活動のまとめとして発表と意見交換	●自分の考えた活動を一人ずつ発表 ●発表したものを見ながら付箋にコメント記入し貼る	パワーポイント ワークシート 付箋
7. 本時の展開（1 時間目）				
本時のねらい： 日本が抱える 31 の課題に対して、自分の地元の課題として捉え、課題解決策を自身で考える時間と、他の人の話や意見を聞いた上で再度考える時間をもつことで「自分にできること」を見つめ直すことができるようにする。また、考えるだけではなく、実行できそうなものを提案することができるように準備をする。				
過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動 ・指導形態		指導上の留意点 (支援)	資料（教材）
導入 (7分)	●挨拶・事前に実施したアンケートの結果共有 ●自分の幸せ時間について考える その場で QR を読み込んでもらい、入力してもらったものを共有する		QR コードを読めているか確認	① PPT
展開 (30分)	◆地域社会の課題 31 について考える (事前にワークシートを渡して興味のあるものや課題を3つ選んで記入してく			② Mentimeter
			ワークシートがあるか、グループで話せているか確認	③ワークシート 「社会 31 課題」

	るように指示してある) グループで1人1分程度ずつ考えを発表していってもらおう 周りの人の意見などで気になるものがあればメモする ◆実際新潟県内で活動している人から話を聞く 1. NPO 法人リリマリプロダクション代表：山田彩乃氏 2. JICA 長岡デスク：原洋介氏		
まとめ (13分)	■振り返り ・話を聞いて感じたことを 30 秒くらいで一言共有 ・全体の活動を振り返って考えたことなどを紙にまとめる ■次回までの課題の指示	課題の指示は Teams にあげておく	③ ワークシート ① PPT
8. 評価規準に基づく本時の評価方法 学期末の際に、自分で掲げた取り組みに対し、どれくらい達成できたか自己評価してもらい、ワークシートに記入してもらう。			
9. 学習方法及び外部との連携 ・NPO 法人リリマリプロダクションとの繋がり ・JICA 長岡デスクの方との繋がり			
10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組 ・未利用魚をテーマとした長岡市で開催された外国人を対象とした日本語スピーチコンテストで本校留学生が優勝（本校 HP 及び地元紙掲載） ・長岡市で開催された「発酵トリップ」というイベントで、未利用魚を使用した練り物の販売を寺泊漁協、長岡市職員、地域飲食店のご協力のもと出店 ・「発酵コンテスト」に未利用魚を使用し、未利用資源と技術をかけあわせ実験を実施・応募 ・新潟大学附属幼稚園の園児と本校留学生の国際交流活動を 2 回実施（日本人学生も参加） ・「夢の種プロジェクト 2021」という市民の挑戦したいものをプレゼンするもので、本校学生が 2 名銅賞受賞 ・にいがた NGO ネットワーク国際教育研究会 Ring で活動報告会			
【自己評価】			
11. 苦勞した点	授業を行った学級は、今回がほぼ初めて接する学生であったため、学生の様子や特徴が掴みきれず、どこまで要求したらいいのか加減がわからず苦勞した。ま		

	た、学区が決められておらず、長岡外からの学生が 7 割くらいであったため、クラス全体としての共感を得られにくい状況であった。 実際に、新潟での活動を知るだけではなく、自分にできること、を考え、まとめ実践するところまでを短い時間で落とし込むという点に難しさを感じた。
12. 改善点	今回、2 回で行う計画で、グループや個人の意見や考えを共有する時間が圧倒的に短く、時間に追われる形となってしまったため、もう少し計画から余裕を持たせる必要があったと感じた。全体的に、じっくりと考えることや、他の人の意見を聞いて考える、という時間をしっかりと設けた方がいいと感じたため、次回改善できるよう努めたい。
13. 成果が出た点	今回の活動をきっかけとして、学生団体のイベントに参加した学生が数名いた。また、新潟での活動や文化について知るきっかけとなり、自分たちの身近な地域課題を見つけること、また県内全域から学生が集まるので、色々な視点からの提案がある中でも、みんなが少しでも暮らしやすくなるための提案がなされていた。
14. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	【学生が作成したスライド一部（学生同士のコメント付き）】 下記のような、実現可能な範囲で取り組みそうな提案を考えてきてくれた学生が多くいた。  【学生の気づきやコメント一部】 実際に、地域課題や活動に関して「知る」ことの大切さや、行動してみようとするものの大切さに関するコメントが多く挙げられていた。また、同じ課題番号を選んでも違った視点からの取り組みの提案があることに気づいたり、同じ課題を選んだ人同士が協力してやってみたりしたらいいのではないかな、などの気づきも見られ活動の幅が広がりそうなものが多くあげられていた。

	●今日の活動全体での気づき・感想 （2人の方が話していた長閑の活性化させるための行動で、ほとんどが自然に関わることで、その中で改めて長閑の地がある新記録は、自然豊かだと思えました。長閑について少し詳しくなれたような気がしたので良かったです。） ●2回の講義を終えての全体的な感想・抱負など （課題番号が被っていても、その活動内容は違っていて、おもしろいです。今日のレポートを発表した。1月2月にやることも実践できるような気がします。） ●今日の活動全体での気づき・感想 （エコやSDGs、地域活動等は限られた予算の中での活動が、どうものだと思っていたが、本利用者の件やニホンシバラのことで等分になりと信託ができて、経済にも貢献しているという点がすごく良いと感じました。） ●2回の講義を終えての全体的な感想・抱負など （みんな時間があまり無かったのに、クオリティの高いスライドをつくらたり、内容をよく考えていたり、感じました。これからはSDGsに関しても考えていきたいと思っています。） ●2回の講義を終えての全体的な感想・抱負など （人の意見を聞いておたく思、いつか自分の家や課題について考えたいです。他の人の目標を手助けしつつ、自分の目標も達成したい） ●今日の講義を聞いて、さらに調べてみたいこと・疑問・聞いてみたいことなど何でも （・似たような田舎の地域にも共通する問題があるだろうし、違いを見つけてみたい ・他の長閑の団体についても知りたい） ●今日の活動全体での気づき・感想 （・知識というのはやはり大切だなと、知っているか知らないかで長閑への印象がだいぶ変わりますし、さすがに市民全員が認知するというのは素晴らしいかもしれませんが、それでももっとなまてほしいと思います。） ●今日の活動全体での気づき・感想 （いろいろな人が参加して、いろいろな社会・地域活動をしていることが分かった。でも、今日初めて聞いた、初めて知ったことが多かった。活動も多岐にわたることを知ることができた。） ●2回の講義を終えての全体的な感想・抱負など （43トットが話していた、3つに同じトットがいたこと、おもしろいなと思った。新しい視点から物事を見て、ぜひ自分も取り組みたい。）
15. 授業者による自由記述	今年度、初めての参加でしたが、新たな視点で多文化共生や地方創生に関し活動している方々から話を聞くことで知識を得ることができ、大変刺激的であった。また、震災に関しては被災地へと足を運び、当時の話を聞き、そこから学んだことや地域の方々の想いを聞くことができ貴重な体験であり、このような機会を設けていただいた全ての方々に深く感謝している。 今回、たくさんの知識を得る機会を頂けたので、これで終わるのではなく、これから教員として何ができるのか、と私自身も考え、今後の教員生活に継続的に活かしていきたいと思う。

参考資料：

Mentimeter「自分が幸せだと思う時はどんな時？」 <https://www.menti.com/hemnd5vubi> （最終閲覧日：2021年12月7日）

社会課題解決中 MAP. <https://2020.etic.or.jp/> （最終閲覧日：2021年12月7日）

「一人の行動が世界を変える！？自分にできる取り組みを提案してやってみよう！」

1 年 組 番 名前：

●率直な今の気持ち（1 が低い→5 が高い）

質問	授業前	授業後（12/23）
自分の地元についてよく知っていると思う	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
自分や他の人の幸せについて考える	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
地域の課題解決を考えることに興味がある	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
地域の課題解決をやってみることに興味がある	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
自分一人でも変わったら世界を変えられると思う	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
自分が行動することは大切だと思う	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
地元のために何か行動をしたい	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

●日本が抱えている 31 の課題で自分の興味のあるもの（解決したい順に）、選んだ理由

	授業前	話を聞いた後
1	（課題番号： ） 理由：	（課題番号： ） 理由：
2	（課題番号： ） 理由：	（課題番号： ） 理由：
3	（課題番号： ） 理由：	（課題番号： ） 理由：

●長岡の課題って？（思いつくだけ書いていてください）

自分の意見	グループの意見

●長岡の課題に関してグループの人の意見を聞いて考えたこと

[]

●今日の講義を聞いて、さらに調べてみたいこと・疑問・聞いてみたいことなど何でも

[]

●今日の活動全体での気づき・感想

[]

●2回の講義を終えての全体的な感想・抱負など

[]

●学期末：これまでの気持ちの変化や気づきの変化など

[]

2021年12月9日（木）
14:30-15:20

JICA公開授業

一般教育科
兵藤桃香



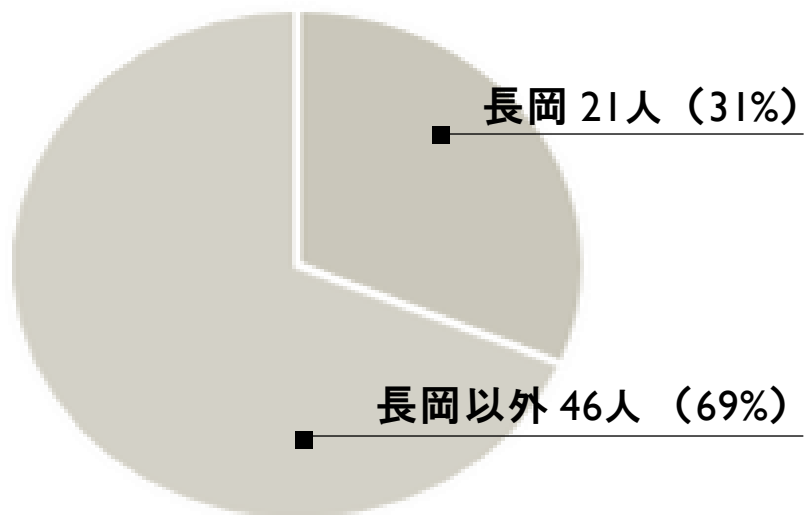
今日の話の流れ

1. アンケート結果公開！
自分の幸せ・長岡（自分の地元）の課題について考える
2. 色々な新潟・長岡での取り組みを聞いてみる
3. 振り返り
4. まとめ・諸連絡

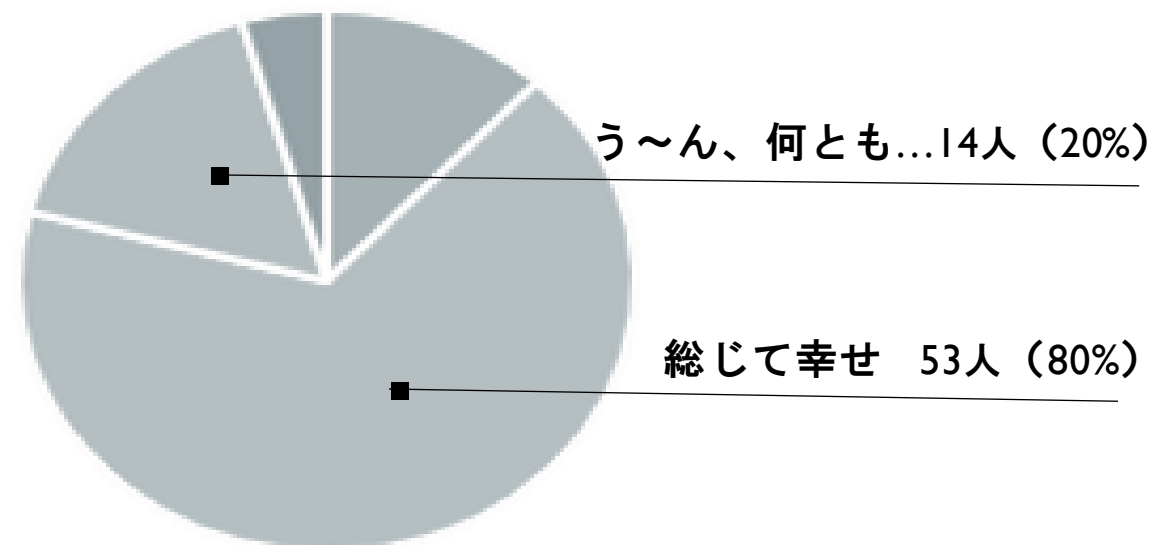


アンケート結果:

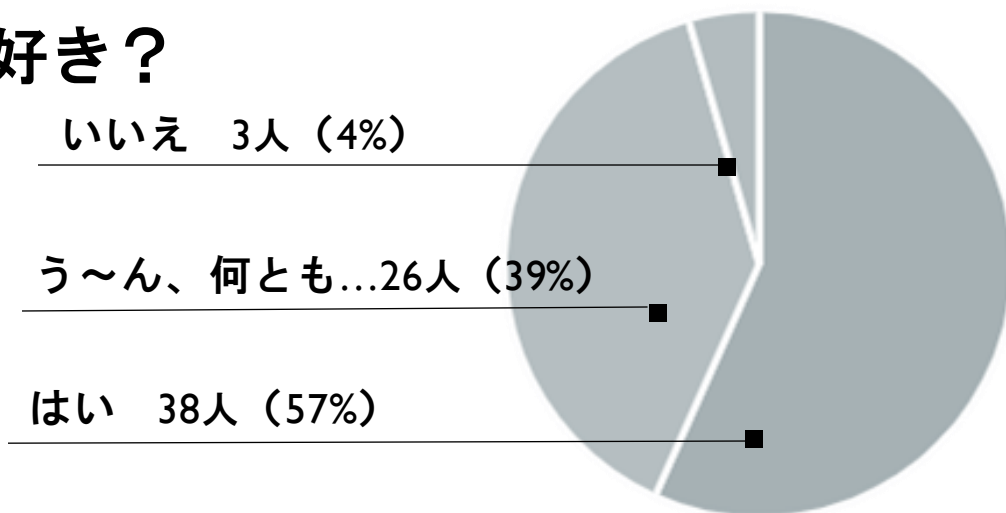
出身地



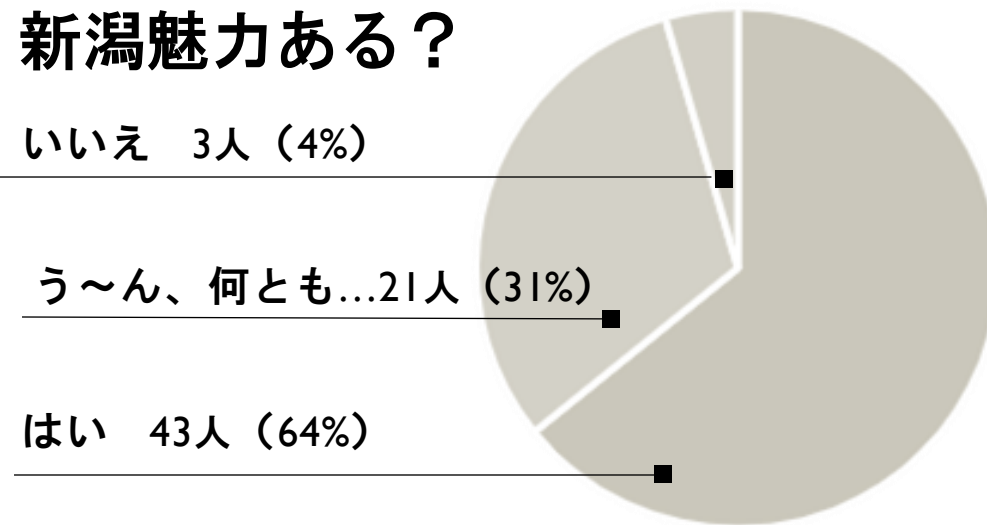
毎日幸せ？



新潟好き？

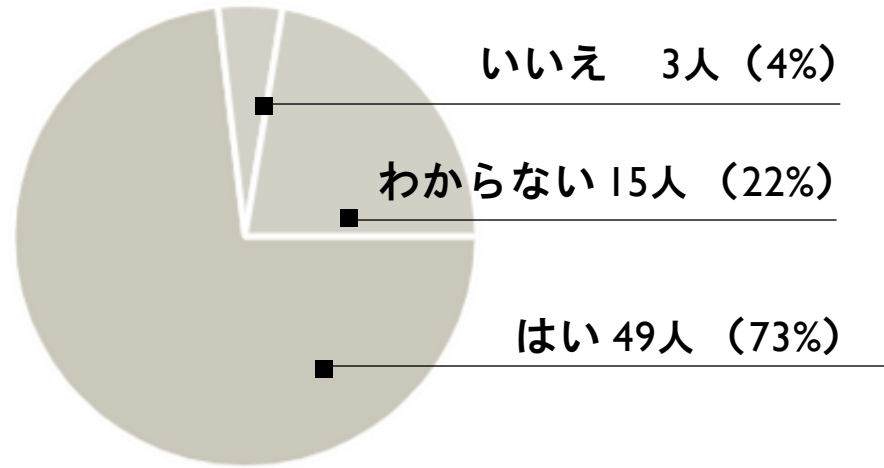


新潟魅力ある？

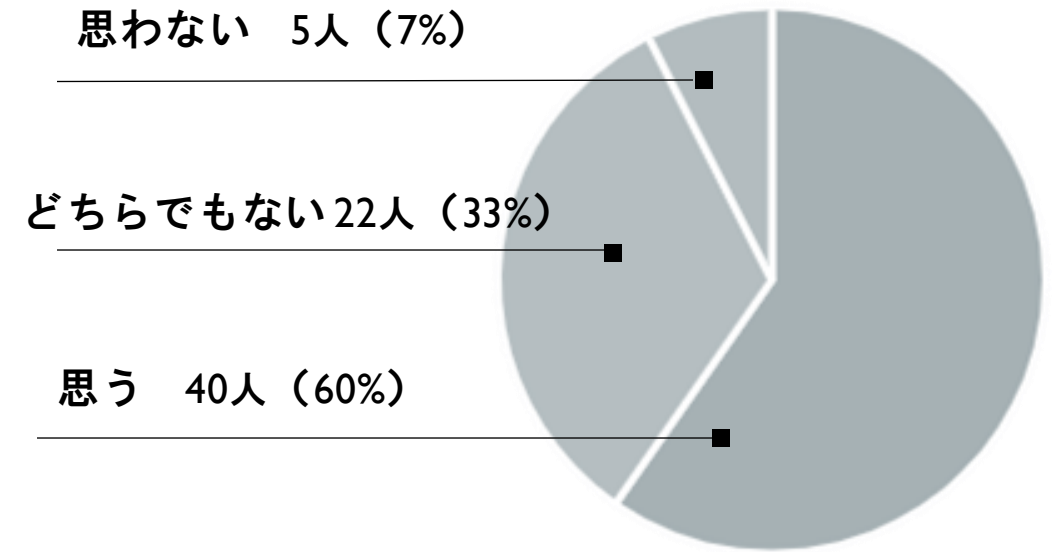


アンケート結果:

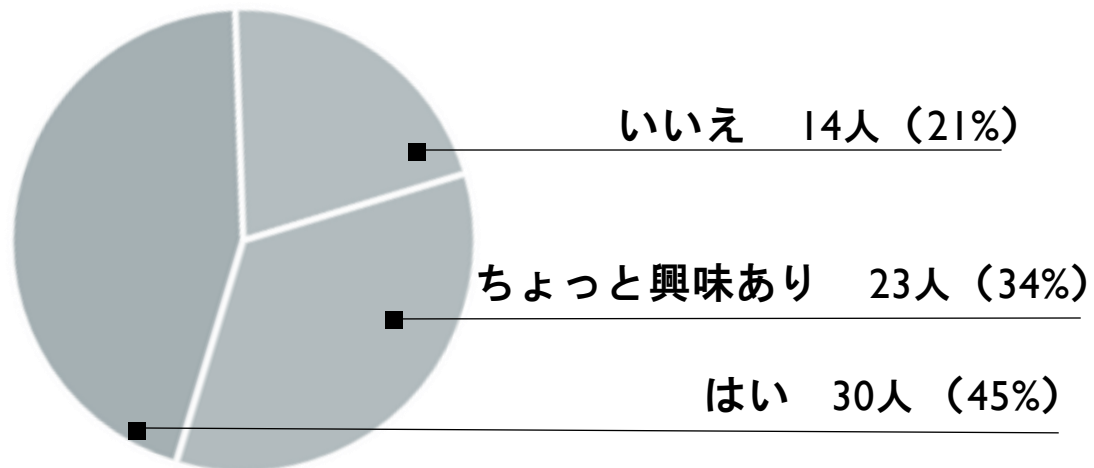
長岡に課題ある？



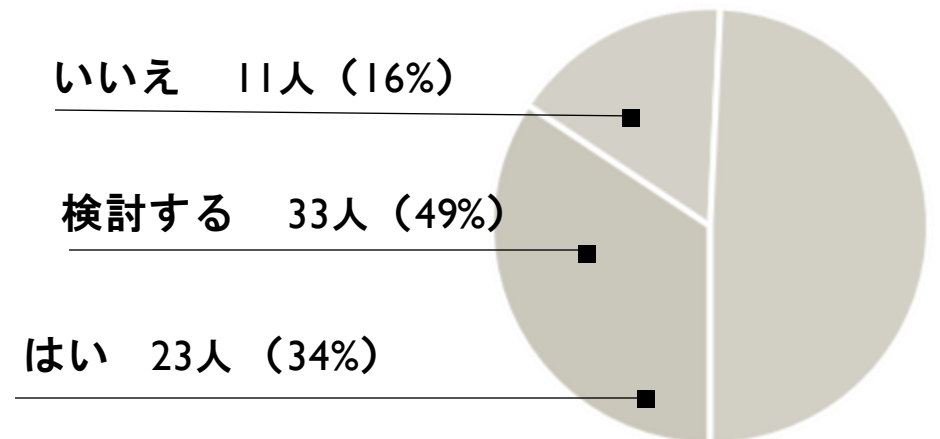
地域や地球のために何かやってみたい？



国際交流や地方創生の活動に興味ある？



国際交流や地方創生の活動に参加してみる？



自分の幸せ時間:

自分が幸せだと思う時間を思いっくだけ
書き込んでください！



ここにQRコードを
作成して貼る
作成は[Mentimeter]使用

地域の課題について:

1. 自分が解決したい課題を3つ選んできたものを
グループでシェア
選んだ理由を1人1分くらいで説明（5分）
2. グループで出た意見をみんなに共有（2グループ）



実際に取り組まれている活動の話を聞く

まとめの時間

まとめ:

グループで話を聞いて感じたことを
1人30秒くらいで伝え合う（3分）

グループで出たことをみんなに共有（2グループ）

それぞれ感じたことをワークシートにまとめる
グループで話しながらでもOK（5分）



提出日：
提出先：

活動のタイトルを書く

名前：

選んだ課題番号：

活動内容：

この活動を選んだ理由：

誰とやるか：

どこでやるか：

☐ 1月：

☐ 2月：

絶対ご飯残しません！



名前：

選んだ課題番号：03

活動内容：破棄する食材を最小限に抑える

この活動を選んだ理由：

スーパーへ行くと値引きシールの誘惑に負けて時々いらないものまで買うため

誰とやるか：家族と

どこでやるか：家や外食先



1 月：無駄な食品を買わない・外食で食べきれ分だけ注文する・フードロスについて調べて取り組みを1つSNSに載せる



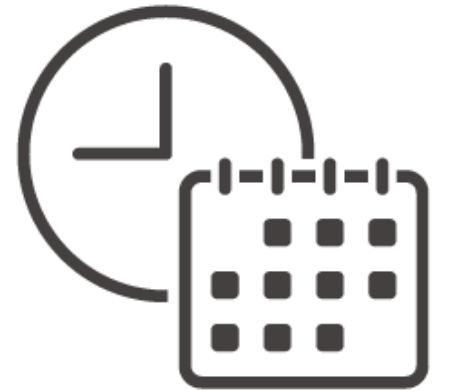
2 月：食品の皮（大根とかニンジンとか）も食べるレシピを調べて1回作る

An illustration of a business presentation. A man in a white shirt and dark suit stands at the front, pointing with a yellow pencil at a large screen displaying a pie chart and various data points. He is smiling. In the foreground, three people are seated, viewed from behind. The person on the left has dark hair and is wearing a dark vest over a light blue shirt. The person in the middle has dark hair and is wearing a dark vest over a light blue shirt. The person on the right has dark hair and is wearing a green sweater over a dark vest. They are all looking towards the presenter. The background is a warm, brownish-orange color. There are several floating icons: a speech bubble with horizontal lines, a pie chart, a bar chart with an upward arrow, and a thought bubble with a gear and a lightbulb.

12月23日(木)
特活発表スライド

今日の流れ

1. まずみんなから提案の発表（15分くらい）
2. グループでメンバーの提案をみて気づきを
ふせんに書き込んで貼る（5分くらい）
3. 私から一言（2分くらい）
4. 各自振り返りでプリントに記入（8分）



以下、学生・生徒が作成した
スライドを貼っていく

2. グループワーク

- グループでメンバーの提案を共有する
- 気づきをふせんに書き込む（否定でなければどんなことでもOK）
5分くらいで



3. 私から一言

なんでこのテーマにしたか？



どんなに小さなことでも行動する・声に出すことが大切
みんなのアイデアは貴重

4. 2回の活動を振り返って

- 自分で振り返りの時間（**10分程度**）
- ワークシートの空いているところ（一番下以外）を記入

